

194042-1 ユーホー特殊洗淨剤 SR#200
 株式会社ユーホーニイタカ

作成日 : 2016年6月17日
 改訂日 : -

安全データシート

【1. 化学物質等及び会社情報】

製品名 ユーホー特殊洗淨剤 SR#200
 会社名 株式会社ユーホーニイタカ
 住所 茨城県常総市大生郷町6136-7
 電話番号 0297-24-2535
 FAX番号 0297-24-2537
 担当部門 本社工場
 緊急連絡電話番号 0297-24-2535

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性	金属腐食性物質 区分外
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
急性毒性（吸入：粉塵およびミスト）	区分外
皮膚腐食性／刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分2（吸入：肺）
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分2（歯・骨）
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性（急性）	分類できない
水生環境有害性（慢性）	分類できない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷
 重篤な眼の損傷
 臓器の障害のおそれ(肺)
 長期にわたる又は反復暴露による臓器の障害(歯・骨)

注意書き

- [予防策] : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後は手をよく洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- [対応] : 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと
 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 直ちに医師に連絡すること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて
 容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 直ちに医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。
- [保管] : 施錠して保管すること。
- [廃棄] : 内容物／容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。

【3. 組成、成分情報】

単一製品、混合物の区別	混合物
成分	一水素二フッ化アンモニウム 色素 水

【4. 応急措置】

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに多量の水で十分に洗い流す。 液が付着した衣服や靴は直ちに脱ぐ。 速やかに医師の診断を受ける。手当てが遅れると 炎症を起こす恐れがある。液が付着した衣服や靴は、 よく洗ってから着用する。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて 容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 その後、すぐに製品または安全データシート（SDS）を 持参して眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに口をすすがせて多量の水を飲ませる。 意識のない場合には、口から何も与えない。 無理に吐かせないで、速やかに医師の診断を受ける。

【5. 火災時の措置】

消火剤	この製品自体は、燃焼しない。
-----	----------------

<p>使ってはならない消火剤 特有の消火方法</p>	<p>知見なし 消火作業は、風上から行う。周囲の設備等に散水して冷却する。 適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。</p>
--------------------------------	-------------------------------------------------------------------------

【6. 漏出時の措置】

<p>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置</p>	<p>関係者以外の立入りを禁止する。 作業の際には、必ず保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、 ゴム長靴等)を着用し、眼、皮膚への接触やミストの吸入を避ける。 屋内の場合、作業が終わるまで十分に換気を行う。 多量の場合、人を安全に退避させる。</p>
<p>環境に対する注意事項</p>	<p>流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を 起こさないように注意する。 大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に 処理されずに環境へ流出しないように注意する。 漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。</p>
<p>封じ込め及び浄化の方法・機材</p>	<p>少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で 吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。 多量の場合は、周囲への流出を防止し、安全な場所に導いてから 処理する。酸性の製品なので、必要があればアルカリで中和する。</p>

【7. 取扱い及び保管上の注意】

<p>取扱い 技術的対策</p>	<p>取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための 設備を設置する。 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、 保護具を着用する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの 取扱いをしてはならない。</p>
<p>局所排気・全体換気 注意事項 安全取扱い注意事項</p>	<p>換気を良くして使用することが望ましい。 塩素系漂白剤、次亜塩素酸ナトリウム等と反応して塩素ガスを発生する 接触、吸入または飲み込んでではない。 取扱い後は手・顔等を十分に洗い、うがいをする。</p>
<p>保管 適切な保管条件</p>	<p>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 他のものと混同しないように保管する。 容器は直射日光や火気を避けること。 毒物劇物取扱法に従って、適切に保管すること。</p>
<p>安全な容器包装材料</p>	<p>他の容器に移し替える場合は、当社指定の専用容器を使用する。 (商品名、使用方法、注意事項を明記した専用容器)</p>

【8. 暴露防止及び保護措置】

保護具:	
<p>呼吸器の保護具 手の保護具</p>	<p>マスク ゴム手袋</p>

目の保護具 保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 保護衣
 設備対策： 局所排気装置、安全シャワー、手洗い・洗眼設備

【9. 物理的及び化学的性質】

外観	淡黄色透明の液体
臭い	弱い特異臭
pH	酸性 (pHは測定できない)
融点・凝固点	知見なし
沸点、初留点と沸騰範囲	知見なし
引火点	知見なし
自然発火温度	知見なし
燃焼又は爆発範囲の上限/下限	知見なし
蒸気圧	知見なし
蒸気密度	知見なし
比重 (相対密度)	1.0 (25℃)
溶解性	水と任意の割合で混合
オクタノール/水分分配係数	知見なし
分解温度	知見なし

【10. 安定性及び反応性】

安定性	法規制に従った保管及び取り扱いにおいては安全と考えられる。
危険有害反応可能性	塩素系漂白剤、次亜塩素酸ナトリウム等と反応して塩素ガスを発生する酸と接触すると、HFガスを発生する。 アルカリと接触するとアンモニアガスを発生する
避けるべき条件	混触危険物質との接触
混触危険物質	酸、アルカリ、塩素系漂白剤
危険有害な分解生成物	知見なし

【11. 有害性情報】

急性毒性 (経口)	製品としてのデータ無し
急性毒性 (経皮)	製品としてのデータ無し
急性毒性 (吸入:蒸気)	製品としてのデータ無し
皮膚腐食性/刺激性	製品としてのデータ無し
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	製品としてのデータ無し
皮膚感作性	製品としてのデータ無し

◎以下は一水素二フッ化アンモニウムの毒性
 慢性毒性：フッ素慢性毒性（斑状歯、フッ素骨沈着など）有り

【12. 環境影響情報】

水性環境急性有害性	製品としてデータ無し。
分解性	製品としてデータ無し。

【13. 廃棄上の注意】

関係法令を遵守し、適切に処分すること。

フッ素は水質規制がある。洗浄廃液も規制値に則って適切に処理すること

【14. 輸送上の注意】

国内規制	毒物及び劇物取締法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	直射日光を避け、高温のところに置かない。 運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、 損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

【15. 適用法令】

労働安全衛生法第57条第1項の政令で定めるもの	弗素及びその水溶性無機化合物
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律で定めるもの	第一種指定化学物質 374：ふっ化水素及びその水溶性塩（10%）
毒物及び劇物取締法	劇物「一水素二弗化アンモニウム」
船舶安全法	腐食性物質
航空法	腐食性物質
海洋汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	有害物質（施行令第二条）「ふっ素及びその化合物」 〔排出基準〕8mg/L (F, 海域以外), 15mg/L (F, 海域)

【16. その他】

記載内容の問い合わせ先

会社名	株式会社ユーホーニイタカ
住所	茨城県常総市大生郷町6136-7
担当部門	本社工場
電話番号	0297-24-2535
FAX番号	0297-24-2537

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
また、記載事項は通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。